
ロシア史研ニューズレター

ОБЩЕСТВО ИССЛЕДОВАТЕЛЕЙ ИСТОРИИ РОССИИ

No. 129

April 2023

2023 年度大会は 10 月 28 日～29 日 九州大学にてハイブリッド開催 自由論題・パネル報告募集中

【事務局より】

今年 10 月 28 日(土)、29 日(日)に九州大学伊都キャンパスで予定されているロシア史研究会大会は、昨年と同様、ハイブリッド形式で開催されることになりました。ただし、状況によっては全面オンライン開催に変更になる可能性がありますので、事務局からのメーリングリストでの連絡にご注意ください。

共通論題提案は既に締め切られておりますが、自由論題報告・パネルの応募締め切りは 4 月 30 日(日)ですので、応募用紙を本会ウェブサイト「大会」頁からダウンロードし、添付ファイルを事務局宛にお送りください。

<大学院生等に対する大会報告時の交通費補助制度>

例会交通費支給規程を準用し、大学院生等会員の研究活動を資金的に支援するため、遠方の会員(学振研究員を除く大学院生・非常勤)の自由論題報告に対し、交通費実費の片道分(上限有)を補助します。ご希望の方は報告申込のメールに「交通費補助希望」と記入してお送りください。

<大会時の託児サービス>

大会時の託児サービスについては、本年は地方開催ということもあり、会場内託児は設置しないことになりました。子供一人につき一日最大 5 千円の託児補助を実施します。申し込み締め切り日等の詳細は後日改めてお知らせいたします。

<大会時の委員および監事の選挙について>

大会のハイブリッド開催決定に伴い、委員会で次期委員・監事の選挙実施方法を検討しました。本年は、地方での初めてのハイブリッド形式での開催となり、現地参加者数が予測できないことから、暫定的に、メールを利用した前回と同様の方法で選挙を行うことを決定しました。詳細が決まりましたらメーリングリストおよびニューズレターでお知らせいたします。

【委員会議題】

主な議題は以下のとおりです。

2022年12月メール会議

- ・『ロシア史研究』への大会プログラム等の掲載時期
- ・尼川創二会員のご逝去

2023年3月上旬メール会議

- ・佐々木照央元委員長ご逝去
- ・「日本学術会議の在り方についての方針」に対する声明

3月22日 Zoom ミーティング

- ・大会関連(開催方法、共通論題の方針、非会員の登壇、託児補助など)
- ・委員選挙方法
- ・ハラスメント防止ガイドライン
- ・サマースクール企画選考委員の選任
- ・『ロシア史研究』広告費
- ・B 会員委員の出張旅費／サマースクール講師の出張旅費
- ・過去の会費資料／ML 配信の確認／入会申込書の作成
- ・学振賞候補者推薦依頼



サント・ペテルブルク郊外の庭園(ロシア、2019年4月、撮影:松本)

【献本について】

事務局まで以下の献本がありました。

スラーヴァ・ゲローヴィチ『ニュースピークからサイバースピークへ—ソ連における科学・政治・言語』名古屋大学出版会、2023年

原暉之・兎内勇津流・竹野学・池田裕子編著『日本帝国の膨張と縮小—シベリア出兵とサハリン・樺太』(スラブ・ユーラシア叢書第16巻)北海道大学出版会、2023年

ロシア史研ニューズレター
第129号 2023年4月14日発行
編集・発行 ロシア史研究会委員会
(長縄宣博・松本祐生子)
〒558-8585
大阪市住吉区杉本3-3-138
大阪公立大学大学院文学研究科濱本研究室気付
